



リンスホーテン『東方案内記』標題紙（英語版、ロンドン、1598 年刊）

1596 年に出版されたリンスホーテン『東方案内記』のオランダ語版は、アジアへの航路情報だけでなく、アジア諸国に関する豊富な情報をもオランダ人にもたらした。同書の中で日本についても一章が設けられ、日本の国土や日本人の気質や生活、慣習、手工芸、茶道具や美術品など日本の様々な事柄について詳細に記述されている。リンスホーテンは日本までは行ったことがなかったもので、日本についての情報はインドのゴアで得たものであると推測され、長崎に滞在したことのあるポルトガル人やオランダ人が重要な情報源であったと考えられる。日文研所蔵本は、1598 年にロンドンで出版された英語版で、同書はイギリス人にとってアジア航海の貴重な指針となった。

日文研所蔵外書（解説：フレデリック・クレインス准教授）